

第3回 仙台駅西口ペDESTリアンデッキ

こんにちは。青葉区公園課の阿部と申します。ASIPP では緑に関する記事の作成を担当しています。

新幹線を降りてペDESTリアンデッキの上に立つと、「仙台に帰ってきたなあ」という言葉が自然とこぼれます。建ち並ぶビルとにぎやかな往来はありきたりな光景ではありますが、肌で感じる空気が「ここは仙台だ」と教えてくれる気がします。

「杜の都」という呼称の起源は明治時代の観光ガイドブックにまで遡りますが、その本では「街なかのみどりとそれを取り囲む自然のみどりにより空気が澄んでいて、都会でありながら俗塵を感じないことから、森の都と呼ばれる」といった主旨の評価がされています。

今でも感じることのできるその澄んだ空気が、都市と自然との調和が保たれていることを証明しています。

